

令和元年度志木市一般会計・特別会計決算の概要

■ 一般会計

<決算規模>

- ・歳入総額 258億3,459万円【前年度：243億1,731万円（6.2%増）】
- ・歳出総額 239億7,053万円【前年度：229億2,746万円（4.5%増）】

<収支状況>

- ・歳入歳出差引額 18億6,406万円【前年度：13億8,985万円】
- ・実質単年度収支額 1億0,114万円【前年度：▲2億5,621万円】

一般会計決算の特徴

- 歳入は、市税や幼児教育・保育の無償化に伴う子どものための教育・保育給付費交付金などの国・県支出金の増等により、前年度比15億1,728万円の増となっています。
- 歳出は、富士下橋耐震補強等工事の完了などにより土木費が減となったものの、幼児教育・保育の無償化に伴う、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業費の増等による民生費の増や、庁舎建設事業費の増等による総務費が増となったことなどにより、前年度比10億4,306万円の増となっています。
- 実質単年度収支（財政調整基金の増減を控除した、当該年度の実質的な収支を把握する指標）は、昨年度の赤字から転じて1億0,114万円の黒字となりました。なお、財政調整基金残高は、前年度から2億3,336万円減の24億9,338万円となっています。
- 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は94.1%で、前年度（94.5%）より0.4ポイントの減となり、改善されました。
- 地方自治体の財政状況の健全度を示す健全化判断比率は、全ての指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率）において基準値を大きく下回っており、本市の財政状況が健全であることを示しています。
- 令和元年度末の市債残高は165億3,572万円で、総合福祉センター用地取得事業債や志木第二小学校用地取得事業債の増などにより、前年度から2億6,433万円の増となりました。なお、市民1人当たりの市債残高は22万円となっています。

※表示単位未満を四捨五入しています。

（裏面へ続く）

■ 特別会計

(単位：万円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	717,808	690,994	26,814
志木駅東口地下駐車場事業特別会計	5,485	5,273	212
介護保険特別会計	471,740	454,658	17,082
後期高齢者医療特別会計	94,406	92,115	2,290

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

■ 企業会計

(単位：万円、税抜)

	収 益	費 用	経常損益	特別損益	純損益
水道事業会計	130,095	124,490	5,676	▲71	5,605
下水道事業会計	185,465	175,873	9,591	0	9,591

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

<p>記者発表資料 令和2年8月25日 総務部財政課 財政グループ 担当者／主任 小高 拓実 電話番号／048-473-1111 内線2255 志 木 市</p>
--